

団体名(施設名)	仙台市川前児童館
代表者名	杉田通世

事業内容(タイトル)	かわまえ・カブラ・ワールド ～カブラで作ろう夢の世界～
開催日時	平成 25 年 12 月 20 日(金) 幼児親子 10:30～11:30 小学生 14:00～15:00
開催場所	川前児童館 遊戯室(乳幼児親子) 集会室(小学生)
参加者数	子ども 48人 大人 15人 スタッフ・協力者 4人
実施したことや 当日の様子 (です・ます調でご記入 ください)	<p>実施に向けて職員は「カブラで作るナイアガラの滝」等の製作講習を受け習得したり、カブラ購入後は来館した乳幼児親子や小学生に少しずつ触れてもらったりして、その感触と遊び方について知らせていきました。職員は7月に実施したカブラの研修をもとに今回のプログラムを構成しました。午前に乳幼児親子、午後に小学生の二部に分けて実施することにしました。そこで、館日よりチラシを活用して小学校と地域全戸へ広報しました。</p> <p>当日はみぞれ混じりの悪天候にもかかわらず、多くの参加者で賑わいました。オープニングで行った「ナイアガラの滝」で参加者の心がグッと引き寄せられたように思いました。その後はたくさんのカブラを十分に使い、一人で作ったり、グループで作ったりと皆が楽しむことができました。乳幼児親子では母親が夢中になる姿を見て子どもと一緒に作ったり、いつもは母親から離れない子が他の親子と一緒に作ったりと微笑ましい場面を見ることができました。握って、並べて、こわしての繰り返し穏やかな時間でした。小学生はグループ製作が多く、ゆずり合い、協力し合いながらの大作を完成させ笑顔が弾けていました。乳幼児親子、小学生ともに1時間ほどの活動でした。和やかな雰囲気一日の行事を終えることができました。皆が満喫していると感じることができました。</p>

子どもたちや利用者の声	<p>&lt;乳幼児親子&gt;</p> <p>「家ではこんなに夢中になれないのに、カブラに集中してやっています。」「いいですね。」「母親の方が夢中になれて楽しいです。」「握りしめているだけで、なぜだか落ち着きます。」「自由にたくさん使えて親も子も満足です。」「どこの国の積み木ですか?」「我が家でも買いたいです。」などたくさんの方が声を寄せられました。</p> <p>&lt;小学生&gt;</p> <p>「一緒にやろうよー。」「カブラ配達しまーす。」「いっぱいあってうれしい!」「それでも足りない。」「サンタクロースに頼みたい。」などの声が沸き起こりました。さらに、本に載っているカブラを見て作り上げると「ウァー」と歓声と拍手が起こりました。</p>
児童館の担当者の感想	<p>東日本大震災から間もなく3年になろうとする今も、人々の心に恐怖と悲しみが存在します。私達はこれから成長していく子どもの心を少しでもケアしていかなければいけないと感じます。その中で出合ったカブラは五感を使って遊べる魔法の板であると思いました。子どもも大人もどんどん夢中になっていき、参加者全員が素直な心でカブラに触れていることを感じました。木の匂いを感じ、木の肌触りを感じ、木が作り出す様々な音を聞き、木が形作る作品を目で楽しむことで造形の面白さを十分に体感できたと思います。自然と他の人と一緒に活動する姿がたくさん見られました。今後もカブラで遊ぶ活動を継続するとともに、子ども達がもっと幅広い年齢の方と一緒にカブラに触れ合えるプランを考え、実施していきたいと考えております。</p>
募金して下さった全国の皆さまへのメッセージ	<p>この度、このような機会を与えていただきありがとうございました。地域に開かれ愛される児童館として、今後も子ども達の健やかな成長のために活動していきたいと思っております。これからもご支援をよろしくお願いいたします。</p>